

教育相談だよ！

平成 29 年 6 月 21 日



梅雨入りしましたね。雨の日こそ、まだ少ないですが、湿度がだんだん高くなって蒸し蒸しした日が続いています。夏本番を感じさせるような暑い日もあり、何とはなしに疲労感がたまりやすい時期です。1学期も半ばを過ぎ、学校生活はどうか。学校は楽しいこともあります、何かとストレスの多いところでもあります。ストレスがありすぎるのはよくありませんが、適度なストレスは人を成長させるとも言います。自分がストレスで押しつぶされてしまわないように、上手に付き合う手段を見つけてください。



1年生（全員）対象に3分間カウンセリングを実施しています

カウンセリングルームの場所や相談担当の教員、スクールカウンセラーの顔を知ってもらうことを主な目的に昼休みや放課後を使って8棟1階カウンセリングルームや2・3階の選択教室で行っています。

面談の内容として、4月に行った「こころとからだの健康調査」の内容確認、クラスや部活など学校生活について聞いています。

「健康調査」や「事前調査」で回答が多かった「気疲れする」「高校生活に慣れるか不安」等の状況も、現在では多くの皆さんが学校生活に慣れ、ずいぶん解消されていることが分かってきました。

また、多くの1年生が「学校が楽しい」や「部活は大変だけどやりがいがある」「クラスが明るくて良い雰囲気」といった前向きな話をしてくれ、うれしく思っています。その反面、「授業中うるさい生徒がいる」「どうしても苦手な授業がある」「友だちと話すのが苦手」といった話も出てきています。

わずか3分間でしたが、皆さんの様子が分かるとともに、こちらが考えさせられることもありました。きちんとカウンセリングに来てくれた多くの1年生に感謝しています。



1年生のLHRで「道徳教育（いじめについて）」を実施しました

次の行動の中で、あなたが「いじめ」だと思うものはどれですか。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ・ 借りた教科書にいたずら書きをして返す | ・ 部活の仲間に「へたくそ」と言う |
| ・ 「お金を持ってこい」と言う | ・ 登下校にカバンを持たせる |
| ・ ペンケースを隠す | ・ インターネット上に「キモイ」と書き込む |
| ・ みんなで悪口を言う | ・ 使い走り（パシリ）に使う |
| ・ 顔の特徴をあだ名にして呼ぶ | ・ 「きえろ、死ね」と言う |

* LHRで使用した資料から一部抜粋

1年生のLHRでは、左下の行動が「いじめ」と思うか、思わないかという意見交換を班で行いました。班員全員の意見が一致したものもありましたが、ほとんどの行動について班員の意見が異なりました。そのため、自分と他の人との物事の受け止め方の違いについて気づく良い機会にもなりました。上記に挙げた行動はすべて、その後「いじめ」による自殺や「いじめ」の仕返しによる傷害致死事件にまで発展してしまった事例の初期段階に見られたものです。あなたが軽い気持ちでとった行動が、実は相手を傷つけていた、ということもあります。いじめはされた側が「これはいじめだ」と認識すれば、している側が「ただ、からかっただけ」と言っても通用しません。日頃から行動する前に、相手の立場に立って、相手が嫌な気持ちにならないか考えてから行動しましょう。また、「いじめをおもしろがって見ている人」や「いじめを見てみないふりをしている人」もいじめに加担していると判断されます。

いじめを受けていると感じている人は、深刻な問題や不幸な事件が起こる前に誰かに相談してください。本校には、「いじめ防止対策推進委員会」が設置されています。指導が必要な案件には、学校は「いじめ」は絶対に許さないという毅然とした姿勢で、組織的な対応をします。

1年生が書いたLHRの感想を一部紹介します。



- なにげないことやちょっとした悪戯だったり、からかいでも人によってはとても辛く思ったり、そのようなことを言われたり、やられたりしたことを自分の中にとどめて壊れてしまったりもすると思うから、相手のことをよく理解した上で言葉を発した方が良く思った。この授業で人の心は僕たちが考えている以上に弱くもろいものだと分かったので、いじめになるようなことをしてはならないと思った。
- もし自分がいじめを受けたら辛くて仕方ないと思う。いじめは無くすべきで、無くすために周りの雰囲気を良くすればいじめは無くなるだろうし素晴らしいことだと思う。当たり前のことを当たり前にしていけば何も悪いことなんて起きない。僕はいじめの人たちにいじめをやめさせるように言う勇気はないけど、みんなで協力すればいじめは無くなると思う。
- あらためていじめは良くないと思った。人間は1人1人違ってみんな個性があり、それをいじめの道具として使うのは、他人を認めないということで、そんなことをする権利なんて誰にもないから、他人を認めてあげることが大切だと思った。
- 私は今回いじめの事についてアンケートをとり、自分でも知らないうちに言葉で人を傷つけているかもしれないと思い「ゾッ」としました。私の場合、経験上、陰でコソコソやられている人のことを、見て見ぬふりをしていました。しかし、私たちはもう大人の仲間入りをしようとしている人間です。～略～これからは「大人に頼る」だけではなく、これから大人になる自分たちにできることをやるだけだと思います。

※文は原文通り



7月・9月のスクールカウンセラー来校

カウンセラーさんの予約はいつでも受け付けています。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方でも予約可能です。各クラス担任の先生、教育相談室の 細田まで連絡をください。

7月 7日（金） 内野SC

18日（火） 橋本SC

24日（月） 橋本SC

9月 6日（水） 内野SC

場所：カウンセリングルーム 時間：13:30～17:30

※教育相談だよりは掛川工業高校ホームページに掲載します。